

カメラを持って歩いていると、ふいに「Take a picture!」と頼まれました。カメラを向けるとこの表情。ポーズを変えて撮り、写真を見て爆笑していました。

家庭とは違う言葉、文化の中でもたくましく過ごす彼らを見てると、素直に「すごいな」と感心してしまいます。

子どもの心はなんて柔軟なんでしょう。

“今を生きる”という点において、子どもの心はどこだろうと変わらないのかもしれませんが。



心の しなやかさ

体育が 始まりました

今年度初めての体育が
始まりました。
まずは櫻井先生と楽しく
身体を動かすところから。

園庭に元気な声が
たくさん響いていました。





なんでも レストラン

ばら組の子どもたちが砂場でレストランを開いています。注文すればどんな料理でも出してくれるなんでもレストランです。しかも、料理の提供スピードはわずか数秒。最速のファストフードです。あひる組の子たちが美味しそうに料理を食べていましたよ。10品くらいを3人で食べて、お会計はなんと300円。衝撃の安さです・・・。

すいませ～ん
とおいま～す

だいじな
おともだち
はこんでま～す



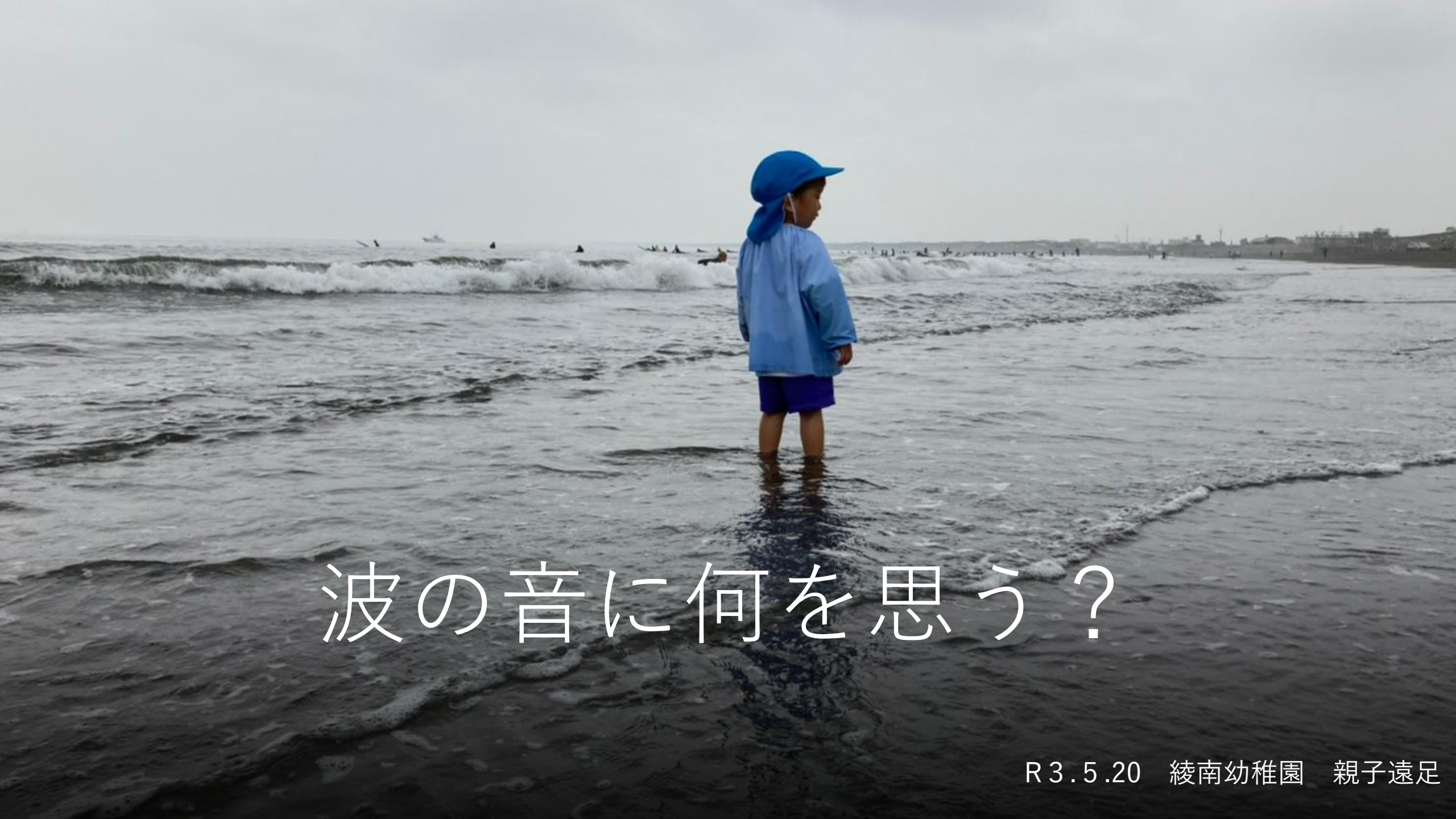
生きてる！

地引網で獲れた魚の中には、まだ動いているものもいました。

手で触れるとぴちぴちと動く魚の命をダイレクトに感じます。

命に触れる瞬間です。



A child wearing a blue raincoat and a blue hat stands in the shallow ocean waves, looking out towards the horizon. The sky is overcast and grey. In the background, other people can be seen wading in the water.

波の音に何を思う？

地引網

みんなで何度も引きました。
お魚、まだかな？
よいしょ、よいしょ！
まだまだ魚は見えません。
みんなで力を合わせて
頑張りました地引網。





海の音が 聴こえる

担任が拾ってきた貝殻を耳に当てている子がいました。
楽しかった思い出はそのままにしておくと、すぐに風化してしまいます。
こんなふうに、遊びを通して昨日のことを思い出すことで
思い出を学びへと繋げていってくれるのです。